

『乙種 1・2・3・5・6 類 危険物取扱者試験 平成 29 年版(初版)』
に関するお詫びと訂正のご案内

『乙種 1・2・3・5・6 類 危険物取扱者試験 平成 29 年版』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願い致します。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。
よろしくお願い申し上げます。

初 版

P56	訂 正	5. 塩素酸カルシウム $\text{Ca}(\text{ClO}_3)_2$					
		<table border="1"> <tr> <td>形状</td> <td>▪ 無色または白色の結晶</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">性質</td> <td>比 重 2.7</td> </tr> <tr> <td>融 点 325°C</td> </tr> <tr> <td>▪ 水によく溶ける。 ▪ 潮解性がある。</td> </tr> <tr> <td>▪ 水溶液からは 76°C以下で二水和物、76°C以上で無水物が析出。 ▪ 二水和物は急激に加熱すると、100°Cで融解する。 融解</td> </tr> </table>	形状	▪ 無色または白色の結晶	性質	比 重 2.7	融 点 325°C
形状	▪ 無色または白色の結晶						
性質	比 重 2.7						
	融 点 325°C						
	▪ 水によく溶ける。 ▪ 潮解性がある。						
	▪ 水溶液からは 76°C 以下で二水和物、 76°C 以上で無水物が析出。 ▪ 二水和物は急激に加熱すると、 100°C で融解する。 融解						

P72	訂 正	2. 臭素酸ナトリウム NaBrO_3					
		<table border="1"> <tr> <td>形状</td> <td>▪ 無色または白色の結晶性粉末</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">性質</td> <td>比 重 3.3</td> </tr> <tr> <td>融 点 381°C</td> </tr> <tr> <td>▪ 水によく溶け、エタノール、メタノールにも溶ける。 エタノールにはほとんど溶けない。</td> </tr> <tr> <td>▪ 不燃性で、強力な酸化剤である。 ▪ 加熱すると、臭化ナトリウム NaBr と酸素に分解する。</td> </tr> </table>	形状	▪ 無色または白色の結晶性粉末	性質	比 重 3.3	融 点 381°C
形状	▪ 無色または白色の結晶性粉末						
性質	比 重 3.3						
	融 点 381°C						
	▪ 水によく溶け、 エタノール、メタノールにも溶ける。 エタノールにはほとんど溶けない。						
	▪ 不燃性で、強力な酸化剤である。 ▪ 加熱すると、臭化ナトリウム NaBr と酸素に分解する。						

P199 【2】	誤	<p>【2】 解答「2」(B・Eが誤り) B. メチルエチルケトンパーオキサイドは、密閉すると内圧が上昇して分解が促進されるため、通気孔のあるフタ付きの容器やガス抜き口のある容器を使用する。しかし、過酸化ベンゾイル($\text{C}_6\text{H}_5\text{CO}$)$_2\text{O}_2$のように密栓して貯蔵・取り扱うものもある。 E. ニトロセルロースのように分解しやすい危険物は、断熱性の良い(高い)容器に入れて貯蔵してはならない。分解に伴う熱が蓄積しないよう通気性のある容器に貯蔵する。</p>
	正	<p>【2】 解答「2」(B・Eが誤り) B. メチルエチルケトンパーオキサイドは、密閉すると内圧が上昇して分解が促進されるため、通気孔のあるフタ付きの容器やガス抜き口のある容器を使用する。しかし、過酸化ベンゾイル($\text{C}_6\text{H}_5\text{CO}$)$_2\text{O}_2$のように密栓して貯蔵・取り扱うものもある。 E. 特に分解しやすい危険物は、断熱性の良い(高い)容器に入れて貯蔵してはならない。分解に伴う熱が蓄積しないよう通気性のある容器に貯蔵する。</p>

